

広島平和教育研究所主催「戦争・被爆体験を聞く会(9.24)」のご案内

あかつきぶたい

暁部隊を中心とした

広島湾内の戦跡をめぐるフィールドワーク

2016年9月24日(土) 9:30 ~ 16:00 ※参加費無料

- 9:30 集合・受付(宇品防波堤公園)
- 9:45 開会行事
- 10:00 証言・フィールドワーク(証言者:江種祐司さん)
- 15:45 閉会行事
- 16:00 解散

船に乗り、^{かなわじま}金輪島・^{たいび}安芸郡坂町鯛尾(金輪島対岸)・江田島市
^{こうのうら}幸ノ浦(似島対岸)・^{にのしま}似島をめぐる、一部の島に上陸し、証言・
フィールドワークを行います。とても貴重な機会です。



陸軍船舶部隊(別名「暁部隊」)の司令部は、広島湾内の各基地の船舶をはじめ、アジア各地に展開した陸軍の船舶に命令する機関で、宇品凱旋館に置かれていました。

「なぜ、陸軍に船舶部隊が?」と思われるかもしれませんが、日清戦争以後、日本中の膨大な陸軍部隊は軍港宇品から大陸に送り出されました。戦争をするためには兵隊を送り出すとともに、被服・食糧・兵器・弾薬を同時に送り出すわけで、その仕事を総合的にやるためには輸送船をはじめ、多種多様な船が必要です。それを陸軍独自で行ったのが陸軍船舶部隊だったのです。

敗戦間際には、海軍と同じように船舶特攻隊が編制され「㊦(まるレ)」という「特攻兵器」の製造・実験・改造・訓練が広島湾内で行われたのです。加害基地「広島」の終末を迎えた軍港宇品・金輪島・鯛尾・幸ノ浦・似島には、今もなお胸に迫る事実が数多く残っているのです。

- ①軍港宇品 : 軍用棧橋・宇品線に凱旋館及び船舶教育部・船舶練習部が配置されていた。
- ②金輪島 : 野戦本廠司令部、各種の造船及び修理改造。兵器・弾薬及び部品の移動配置等の重要な拠点地だった。
- ③坂町鯛尾 : ㊦の設計製造、改造修理及び実験・走行等のための秘密の工場があった。
- ④似島 : 検疫所だけではなく、島の西側中心に㊦の訓練基地、宿舎施設群があった。船艇を収納する場所も確保されていた。
 - ・長浜(ながはま)軍用棧橋 ・中の原(なかのほら)兵舎群・宿舎施設群
 - ・深浦(ふかうら)訓練基地 ・七人窪(しちにんくぼ)及び小筏(こいかだ)船艇格納所
- ⑤江田島市 : 小豆島で編成された16歳から19歳までの特攻隊㊦の本部が置かれた秘密の訓練場。ここからフィリピン・沖縄に出兵していた。8月6日の時点で、約2000人の隊員がいて、似島の救護活動、広島市内の救援活動に動員された。
幸ノ浦

[注意事項]

- ★ 船に乗りますので酔い対策、熱中症対策(防止、水分補給等)をお願いします。
- ★ けがや虫刺され防止のため、長袖等の対策をお願いします。
- ★ 昼食は各自で用意してください(船中で食べます)。
- ★ 荒天の場合の中止については、前日もしくは当日(6:30~7:00)ご連絡します。

【問い合わせ先】 → 広島平和教育研究所 (TEL 082-264-1751) まで。

【集合場所】

駐車場：宇品防波堤公園北側
 料金：30分 100円、上限 1000円

集合場所：宇品防波堤公園



【行程】

